

## インフォメーション

### 春夏製品のご案内

#### 牛もつ炒め

たっぷり野菜とフライパンで炒めるだけ、  
5分でボリュームたっぷりの  
夕食メニューが出来上がります。



こてっちゃん牛もつ炒め コクみそ味



こてっちゃん牛もつ炒め しょうゆ味



こてっちゃん牛もつ炒め しお味

麺と合わせて、ホルモン焼そば  
などのメニューにも！

#### 新発売 アジアの ごはん タコライス

好評販売中のアジアのごはんシリーズに、  
この春沖縄の人気メニュー「タコライス」が新登場！



### 株主ご優待のお知らせ

エスフーズが株主の皆さまだけにお届けします。

#### ご優待内容

##### ■2月末の株主さま

◎2,000株以上保有の株主さま  
「10,000円相当の国産牛肉、または、国産豚肉」  
◎500～1,999株保有の株主さま「3,000円相当の自社製品」  
※上記の国産牛（豚肉）および自社製品は11月（予定）にお送り致します。

##### ■2月末、8月末の株主さま

◎100株以上保有の株主さま一律「自社グループオリジナル商品特別販売」  
※6月、11月（予定）に対象株主さまにカタログをお送り致します。

**国産牛肉（和牛）**弊社が厳選した国産牛肉の逸品。しゃぶしゃぶ、ステーキ  
いずれか、株主さまのご指定のカットでお届けします。



しゃぶしゃぶ



ステーキ

※写真はイメージです。料理写真的野菜、什器等はご優待セットには含まれておりません。

## 会社概要

社名 エスフーズ株式会社  
S Foods Inc. (コード番号2292東証1部)  
設立 昭和42年5月22日  
代表者 代表取締役社長 村上真之助  
資本金 42億9,835万円  
事業内容 食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業  
(グループ)

## 株式メモ

■事業年度 3月1日～翌年2月末日  
■期末配当金受領株主確定日 2月末日  
■中間配当金受領株主確定日 8月31日  
■定期株主総会 毎年5月  
■株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
郵送物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 電話 ☎ 0120-782-031 (通話無料)  
インターネット )  
ホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

#### (ご注意)

##### 【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

##### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。上記の株主名簿管理人とはご照会先および住所変更等のお届出先が異なりますのでご留意ください。

##### <特別口座に関するご照会先>

(特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
(郵便物送付先) 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
(電話照会先) 電話 ☎ 0120-094-777 (通話無料)

##### 【未払いの配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

##### ■上場証券取引所

東京証券取引所

##### ■公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL

http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html  
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

##### ■単元株式数

100株



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表)  
http://www.sfoods.co.jp/



## S Foods News

平成27年2月期

平成26年3月1日～平成27年2月28日



## 事業の概況に ついてのご報告

当連結会計年度における日本経済は、昨年4月の消費税増税により、当初消費意欲は低迷ましたが、大企業を中心給与のベースアップがあったことも影響し、徐々に持ち直しつつあります。また、日経

平均株価もこの一年は上昇基調が続いている、企業業績は概ね好調のように見受けられます。ただ、円安の進行や新興国の経済発展により原材料が値上がりしたため、多くの生活必需品の値上がりが続き、家計には厳しい環境となりました。食肉業界においては、原材料の値上げによって、利益率の確保に悩まされました。このような状況下、当社グループは、食肉業界ではあまり例のない食肉の生産から小売・外食までの食肉に関わる事業を一貫して取り組む垂直統合を推進することで、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、生産事業では、昨年に引き続きグループ最上流の事業として基盤強化と規模の拡大を取り組みました。卸売事業においては、国産・輸入食肉ともに販売シェアの向上に取り組みました。国産牛については、昨年7月に▲

神戸ビーフをヨーロッパへ輸出することを実現するなど、着実に輸出先と数量を増やしております。製造事業については、昨年1月に株式会社フードリエ(当時、グリコハム



神戸ビーフ

株式会社)がグループに加わったことにより、事業の可能性が大きく広がり、グループ企業間の製造機能と販売機能の相互協力の成果が徐々に発揮されつつあります。食肉等の小売事業においては、既存ディベロッパーとの更なる取組強化と不採算店の閉鎖の他、従業員教育や作業オペレーションの改善、イベント等に向けた提案型販売の強化を進めました。食肉等の外食事業においては、焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業とステーキレストランチェーン事業のそれぞれにおいて競争力向上のための施策を実施しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,141億3百万円(前連結会計年度比26.5%増)、営業利益は82億3千万円(前連結会計年度比44.8%増)、経常利益は86億1百万円(前連結会計年度比40.4%増)、当期純利益は43億4千3百万円(前連結会計年度比31.1%増)と増収増益になりました。

## 今後の見通し

日本経済は、景気は緩やかに回復しつつあるという経済見通しもあり、不測の環境変化がない限り、当面は消費者マインドの持直しつれ、上向いていくものと予想されます。ただ、食肉業界においては、原料高による収益性の悪化をいかに回避するか、苦しい経営を迫られることになります。このような環境下、当社グループは、積極的な事業展開により、マーケットシェアの拡大と収益の確保を図ってまいります。



新設の日高食肉センター

食肉等の製造・卸売事業においては、国内食肉については最上流の生産事業の強化を図り、地域やブランドの特性に合わせた販売強化策を実施してきます。5月には北海道新冠町に豚専用の食肉加工場・日高食肉センターも稼動する予定です。輸入食肉については、国際的調達網の強化に取り組み、安定的

な商品供給の仕組みを構築していき、販売シェアの向上を図ります。海外事業については、国産牛の輸出先が年々増えつつありますが、その分競争も激しくなりつつあります。当社の特性を生かした販売戦略を実行することで、既存市場の浸透と新しい市場の開拓を進めてまいります。

製造事業については、昨年株式会社フードリエがグループに加わったことにより、事業の幅が大きく広がりましたので、本年はグループ内の製造加工会社の連携と製造機能を強め、販売シェアの拡大と収益率の向上に努めます。さらに、消費者の食品安全に対する要求水準の高まりに応え、食品安全対策の強化およびコンプライアンスの徹底を図ります。食肉等の小売事業においては、引き続き既存店の活性化を継続的に実施し、新規ディベロッパーとの取り組みも進め、新規に開店した店舗を確実に立ち上げるとともに、不採算店の閉店をさらに進める予定です。P B ブランド商品開発へも当社グループ内の製造事業部門と連携し、競争力のある商品作りを進め、拡充と強化を進めてまいります。惣菜小売事業は利益体質への基盤作りを商品アイテム改廃や、既存店の活性化活動を通じて進めていきます。

食肉等の外食事業においては、従来からの着実な採算重視の経営を維持しつつ、ステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業を競争力を持たせながら着実に運営してまいります。グループ経営の向上については、海外を含めグループ企業の数が増え、グループ内での共同事業も増えつつありますので、それに合わせた効率的な管理体制を構築してまいります。また、それらの事業の成長を支えるためには、人材の長期的な育成が必要であります。社員教育制度の再構築を積極的に進めてまいります。

次期の見通しにつきましては、売上高2,300億円(前年同期比7.4%増)、営業利益85億円(前年同期比3.3%増)、経常利益88億円(前年同期比2.3%増)、当期純利益50億円(前年同期比15.1%増)を見込んでおります。

## 中長期的な会社の経営戦略

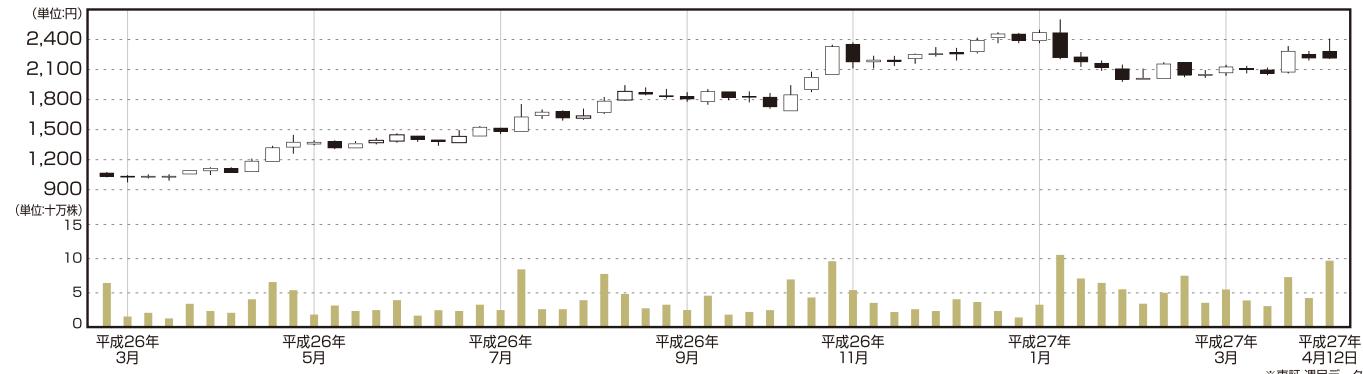
当社グループは、経営理念に沿って食肉の総合企業集団を目指しており、食肉を中心とした食品の安定的な供給体制の確立に引き続き取り組んでまいります。具体的には、食肉の生産、調達、加工、流通、及び最終消費者向け販売・サービスという食肉流通の川上領域から川下領域まで一貫したグループ内食肉サプライチェーンの構築を進めます。更に、国内に留まらず海外における食肉流通機能も拡充することにより、社会情勢の変動への対応力を高めてまいります。

## 営業成績と財産状況の推移(連結)

期別区分	第47期 平成25年2月期	第48期 平成26年2月期	第49期 平成27年2月期	第50期見通し 平成28年2月期
売 上 高	148,097	169,253	214,103	230,000
営 業 利 益	5,166	5,683	8,230	8,500
経 常 利 益	5,593	6,127	8,601	8,800
当 期 純 利 益	2,507	3,313	4,343	5,000
総 資 産	72,224	85,643	98,755	
純 資 産	40,631	43,533	49,768	
1株当たり年間配当金	24円	26円	28円	32円

単位:百万円(配当金を除く)

## ●株価の推移と株式の売買高



※東証・週足データ